

## 進路について考える

先日、進路懇談会が行われました。進路懇談では、中学校卒業後の進路について、担任の先生とお話をしたと思います。現在3年生は、今のところ進学を考えている生徒が大半を占めています。

進路について考える時、「どの高校に行くか」ということも大切ですが、「そこで何を学ぶか」を一番に考えてほしいと思います。今、高校では独自の特色を出し、様々な学科やコースが設置されています。大学進学のための勉強を第一に考え、高校を選択する場合があります。また、各高校で取得できる技能や資格を優先して考える場合もあります。

私は、ある公立高校に入学することになりました。勉強はあまりできませんでした。友人にも恵まれ、充実した高校生活を送ることが出来たと感謝しています。もし、別の高校に進学していたら、また別の出会いや発見があったかもしれません。しかし、それを後悔はしていません。自分で進路を選択し、その結果、中学校の教師となり、多くの生徒との素晴らしい出会いも経験しました。繰り返して言いますが、どの高校に入るのではなく、その高校で何を目標にしてどのように過ごすのが大切なのです。

家族の方や友人、先生方の意見もよく聞き、自分でしっかり考えましょう。特に、私立高校を受験予定の人は、次の期末懇談会までに受験校を決定しなければいけません。専願で受験する人は、その私立受験校が第一志望となります。また、併願で受験する場合も、第一志望とする公立高校を不安なく受検できるように、しっかりと考えて決定して下さい。

## 期末テストが終わりましたが・・・

今日で期末テストが終わりました。2学期は課題テストに始まり、定期テストや学力診断テストとテストが続きました。次のテストは3学期（1月9日）の第3回学力診断テストです。冬休みもあり、少し間が開くこととなります。今から2学期の終業式（12月24日）まで約3週間。進路について考えるという大きな宿題は残っていますが、少し気持ちをリフレッシュしてみることも大切です。（あまりリフレッシュしすぎても困りますが・・・）そして、受験までの最後の長期休みである冬休みに備え、この時期は私立受験校（決まっている人は）の過去問に取り組み、出題傾向や自分の苦手な所を把握するようにしましょう！

合格への合い言葉は

「やって、見つけて、埋める」「何でもタイムリー」

## 公立高校オンライン出願

今年度より公立高校の出願がオンラインに変わります。そのことにより便利になることもありますが、煩雑なことも出てきます。（特に初年度なので）

簡単にではありますが、オンライン出願について説明したいと思います。

## [便利なところ]

- 志願書や自己申告書を手書きで書かなくてよい（間違えても変更が可能）
- 検定料の納付方法の簡易化  
（従来は金融機関で納付しなければなりませんでした。クレジットカード決済、ペイジー決済、コンビニ決済と方法も多様化され便利になっています。）
- 出願するために高校に行かなくてよい。  
（私学のオンライン出願とは違い、郵送等も必要ありません。）
- 合否発表や試験の結果（点数）がマイページで確認できる。
- 大阪府立の高校では入学料もオンラインで納付。（方法は検定料と同様）

## [必要な手続き]

- ① 初回ログイン、初期パスワード変更、個人情報の利用許諾（本人・学校で）

間違っではいけませんので、12月6日にタブレット端末を使い、学校で行います。その際、氏名・ID・変更したパスワード・QRコードが印刷されたマイページ案内を配布します。以降は、QRコードを読み取り、パスワードを入力することでご家庭のPCやスマートフォンでの使用が可能となります。

マイページ案内はなくさないように、大切に保管してください。

- ② 志願者情報・必須項目入力、顔写真登録（登録：学校、確認：保護者）

進路懇談時にご確認頂いた情報を元に学校が入力・登録を行います。12月6日以降、ご家庭のPC・スマートフォンでマイページへのログインができるが、登録情報に間違いがないかを2学期末懇談までにご確認ください。

- ③ 出願情報・自己申告書登録（本人）、入学検定料納付・出願情報確認（保護者）

特別選抜を受験する人は1月末、一般選抜を受験する人は2月末に進路懇談を行います。進路懇談で受験校が決定した後、マイページで受験校を選択し、自己申告書を登録します。保護者の方が検定料を納付頂いた後、出願情報（出願校・個人情報）が書かれた用紙を配布致しますので、ご確認の上サインし、ご提出ください。その後、学校が承認すれば出願完了です。

